



一中だより

令和6年度 第20号 令和7年2月19日(水)

『一中地区 子ども未来会議』で話し合いました SNSでのいじめを生まないためにできること・すべきこと

1月30日の午後に、『一中地区 子ども未来会議』を本校の体育館で行いました。子ども未来会議は、いじめ防止や家庭生活の向上を目指し、児童生徒の主体的な取組の一層の推進を図ることを目的の一つとして、伊勢崎市内の各中学校区ごとに実施されているものです。また、実施する目的の中に「地域や PTA と連携を図る」というものがあるため、本校の学校評議員や一中地区小中連携推進協議会委員の皆様にも参観していただきました。

一中地区の小中学校3校の代表児童生徒が集まり、今年度のテーマ「SNSでのいじめを生まないために、自分たちにできること・すべきこと」に基づいて実施しました。本校の代表者(生徒会本部役員生徒)の進行で、まずは各校の実践を報告し合い、その後、テーマに関わる班別協議を行いました。各校の実践発表では小中の発達段階に即した取組が報告され、また、班別協議では、望ましい取組等を話し合い、話し合った成果を紹介し合うことで参加者全体の共有化を図りました。

本校の代表生徒は、全体の進行役を務めるとともに班別協議でも各班でリーダーシップをとって各小学校の代表児童の意見を引き出したり複数の考えを上手にまとめたりと期待どおりの役割を担ってくれていました。やはり、中学生は、学校や地域等で様々な経験を積みながらたくさんのお話を学んできたことで小学生よりも一日の長があると実感し、頼もしさを覚えました。

本校学校評議員や一中地区小中連携協議会委員の方々からは「中学生がしっかりとリーダーシップをとり、小学生をリードするなど立派だった。」「中学生として順調に成長している姿を見ることができて嬉しくなった。」「この4月に一中へ入学する6年生に対して中学生になる心構えを持たせられたと思う」などお褒めの言葉をいただくことができました。

テーマに対して前向きで建設的な取組・意見がたくさん出されたことで、児童生徒の主体的な活動・取組をとおして一中地区の各学校がますます気持ちよく生活を送れる場になって欲しい、一中地区の児童生徒全員が活力ある有意義な毎日を送って欲しいと強く感じました。



チャレンジウィークでの学びを発表しました

2月4日の午後に1・2年生の各教室で2年生が12月に行ったチャレンジウィーク(職場体験学習)の発表会を行いました。今年も発表会には2年生のみならず1年生も参加しました。2年生にはより多くの職場の様子を知ってキャリア教育の共有化を図る、1年生には来年度に体験する職場選択の一助になるよう実施しました。



体験職場ごとに2年生各自から、体験した1日の流れ、仕事、体験を通して学んだことなどが発表されました。「働くことの大変さや苦労」「働く喜び」などの他に、「中学生である自分を職場に向かい入れてくださった方々への感謝・お礼」を発表している生徒も多く、一回り成長した様子が見えられました。(一中生に限ったことではありませんが)周囲からしてもらったことの多い昨今の中学生にとって、『働く場』での体験は普段の家庭生活や学校生活ではなかなか得ることのできない学びの機会になったと思います。

2年生の皆さん、チャレンジウィークで学んだことを糧に、将来へ向けた自己実現を果たせるようこれからの中学校生活をしっかりと送ってください。

1年生の皆さん、来年度は皆さんの番です。2年生の先輩方が伝えてくれたことを参考に有意義なチャレンジウィークになるよう準備を始めてください。

安心して入学してください 待っていますよ

2月7日午後、令和7年度に本校へ入学予定の小学6年生ならびにその保護者を対象とした入学説明会を実施しました。説明会の前半は全体会として本校の学校生活全般について児童と保護者へ説明しました。後半については、児童は1・2年生が受けている授業の参観や生徒会本部役員生徒からの学校説明、保護者は南・茂呂地区の主任児童委員さんからの説明や本校スクールカウンセラーからの講話といったように児童と保護者を分けて行いました。



1・2年生は、しっかりと授業を受けている普段どおりの姿を今春入学して後輩となる小学6年生へ見せてくれるなど立派でした。また、生徒会本部役員生徒は、健心館で全児童へ分かりやすく一中の学校生活を説明し、安心して入学できるよう工夫して伝えてくれました。

生徒の皆さん、様々な配慮をありがとうございました。

この度、スチール製パイプ椅子の脚の保護キャップをPTA予算(教育環境充実費)の補助を受けて多数購入しました。これまでスチール製パイプ椅子を学校行事等の際に体育館で使用する場合は、床面を保護する為にシートを敷くなど事前準備や後片付けが大変でした。保護キャップをスチール製パイプ椅子の脚に装着することでそのようなことをせず、簡便に使用できるようになります。

今後、保護キャップを装着する予定です。大切に使用したいと思います。

